

令和5年度第1回「千歳市子ども・子育て会議」会議録【公表用一要約版】

日 時	令和5年8月29日（火）9時30分～10時30分	
会 場	千歳市役所第2庁舎 会議室5・6	
出 席 者	委員 ※50音順	市（事務局）
	会 長 長谷川 誠 委 員 伊崎 亜美 委 員 石岡 くに子 委 員 太田 智逸 委 員 岡田 里枝 委 員 押見 尚子 委 員 佐々木 朋美 委 員 佐野 瑠美 委 員 南家 愛理 委 員 橋元 久人	こども福祉部長 浅井 雅樹 こども福祉部次長 中村 康文 こども政策課長 黒田 大 こども政策係長 大野 晃史 こども政策係主任 本間 公博 こども政策係主任 池内 真鶴 保育係長 濱元 大輔 給付係長 佐々木 拓人
事 務 局	こども福祉部こども政策課	
会議の公開	公開	
傍聴者数	なし	

1 開会

委員数15人中10名の出席につき、会議が定足数（委員の半数以上の出席）を満たしていることを確認。

2 部長あいさつ

3 議事等

（1）審議事項①令和6年度教育・保育施設等の定員拡大について

子ども・子育て会議条例施行規則第2条第4号の規定のため、特別の利害関係を有する委員（特定教育・保育施設の運営にかかわる委員）4名は、審議の間、退席。

【こども政策課長から、資料1（非公開資料）について説明】

（会長）

皆さんご質問はありませんか。

（A委員）

定員超過・定員割れしているところの差はあるのでしょうか。

(黒田課長)

2号定員の超過が顕著にみられるのが実情としてあります。1号定員はかなり減っています。2号・3号定員は一定程度の弾力枠で受け入れて頂いてますが、市としましては、これを是正して実情に合わせていくところであります。

(会長)

ご意見・ご質問はありますか。無ければ、議事(1)を終了いたします。  
議事(1)について事務局提案どおり可決となり審議終了。

(非公開資料を回収)

特別の利害関係を有する委員4名着席。

(2) 報告事項①令和5年度子ども・子育て関係新規事業について

【こども政策課長から、資料2について説明】

(B委員)

NO.10の小中学校保健室エアコン設置事業について、2か年で小中学校の保健室に設置するとありますが、将来的に他の教室にも設置をしていく予定はあるのでしょうか。

(井戸川課長)

普通教室の設置につきまして、教育委員会としても設置は必要と認識しています。ただ、財源の問題もありますし、全小中学校の普通教室や職員室等の部屋にも設置となると相当な年数を要しますので、現時点では具体化していませんが、これらの課題について調査、検討して進めていきたいと考えています。

(C委員)

今の質問に関連していますが、学童クラブにはエアコンは設置されないのですか。

(黒田課長)

学童クラブも学校と同じ状況と認識しています。各学童クラブで設置台数は決まっていますが、次年度以降予算措置を検討していく予定としております。

(C委員)

NO.11のデジタルドリル導入事業ですが、デジタルドリルはいつぐらいから導入しますか。

(井戸川課長)

デジタルドリルは、7月から全小中学校に導入し使用している状況であります。

(C委員)

持ち帰りもできますか。

(井戸川課長)

各校によって使い方は違いますが、家に持ち帰ることもできます。例えば夏休みの宿題として期間中持ち帰らせていた学校もあります。

(D委員)

全教室にエアコン設置となると相当な期間を要するとのことですが、特に心配なのが低学年の児童です。低学年の児童は自分で対処法もわからないですし、暑くても自分で言えないし表現で

きません。また、教室によっては風通しの悪い部屋もありますので、そういった所から早めに設置していただきたいです。

(井戸川課長)

貴重なご意見ありがとうございます。エアコンの設置については、一斉に設置するのか、もしくは全く設置しないのかということではありませんので、低学年の教室から設置していく等、段階的な整備の仕方も含めて検討していきたいと思います。

(A委員)

NO.7 医療的ケア支援事業とは、具体的にどのような内容でしょうか。

(松本課長)

通所事業所を訪問した際にご家族が医療的ケアを代行されていた部分について、ご家族の負担軽減のためにご家族に代わって訪問看護ステーションの看護師が通所事業所を訪問して医療的ケアを行う事業です。

(A委員)

定期的に訪問するのですか。

(松本課長)

ご利用されているときに訪問します。

(会長)

小中学校のエアコン設置については一斉には難しいとは思いますが、例えば図書室だけでも先に設置するのですとか、航路直下の学校ですと夏場窓を開けると騒音で授業に支障が出るということもありますので、各学校の状況を確認していただいて、できることからやっていただくのがよろしいのかと思います。

## (2) 報告事項②次期「千歳市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのニーズ調査について【こども政策課長から、資料3、資料3別紙について説明】

(会長)

今年度は後半にアンケート調査を実施して、具体的な計画の中身は令和6年度に定めていくことでよろしいでしょうか。

(黒田課長)

おっしゃるとおりです。計画の策定に当たり、アンケートで保護者のご意見を伺い、その結果をこの会議で報告させていただき、具体の施策を検討していくことになります。

(会長)

若者の意見を反映させるとのことですが、学生を来年度の子ども・子育て会議に参加してもらう等、イメージとしてはそのような形なのでしょうか。

(黒田課長)

子ども達からの意見聴取について、この会議に参加してもらうのも一つの方法ではありますが、一方では大人の中に入って意見を言うのは難しいと予想しており、具体的な手法を今は持ち合わせていません。どういった形がよいのか、実施・実行性を含め検討していきたいと考えています。一方的にアンケートを送って回答をもらう形ではなく、できる限り現場に行き直接意見を聴いたり SNS を活用していくといったことを考えています。

(D委員)

顔を見て大切なことを話すことが難しい子が多くなっています。保護者には、難しい話しほどLINEを使うように勧めています。SNSの活用は良いと思いますが、メリットがないと動かないと思います。その辺の意欲をどう上げるかが課題になると思います。

また、直接話を伺うことは良いことだと思いますが、学校の先生が同席すると本音は出にくいと思いますので、先生ではなくスクールカウンセラーが同席したり、学校には報告しないと約束して行う等工夫すると少しは意見が出てくると思います。また、一対一にならないようにグループワーク形式だと良いかと思います。

(黒田課長)

ご意見ありがとうございます。子ども・若者の意見を聞いていくためには、こうした調査を行っていること、皆さんの声を聴きたいということをごどのように子ども・若者達に伝えていくのが重要と考えています。形式的なものにならないように、具体的に広くお話を聞いていくように工夫していきたいと思います。

また、声を上げたくても上げられないかもしれない子ども達の声等も広く聞いてくように努めてまいりたいと思います。

(会長)

前回のアンケート回収率も50%なので、保護者の意見を聞いていくのも大変なのではないでしょうか。

(黒田課長)

アンケートの実施方法につきましては、よく考えて工夫して行いたいと思います。

(会長)

ありがとうございます。他にご質問はありますか。無ければ、本日の議事を終了いたします。

#### 4 閉会